



ごみ減量・リサイクル通信

発行/編集 青梅市環境経済部清掃リサイクル課 〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1 ☎22-1111(内線 2336~2339)

容器包装プラスチックごみ

～分別、出し方迷っていませんか～

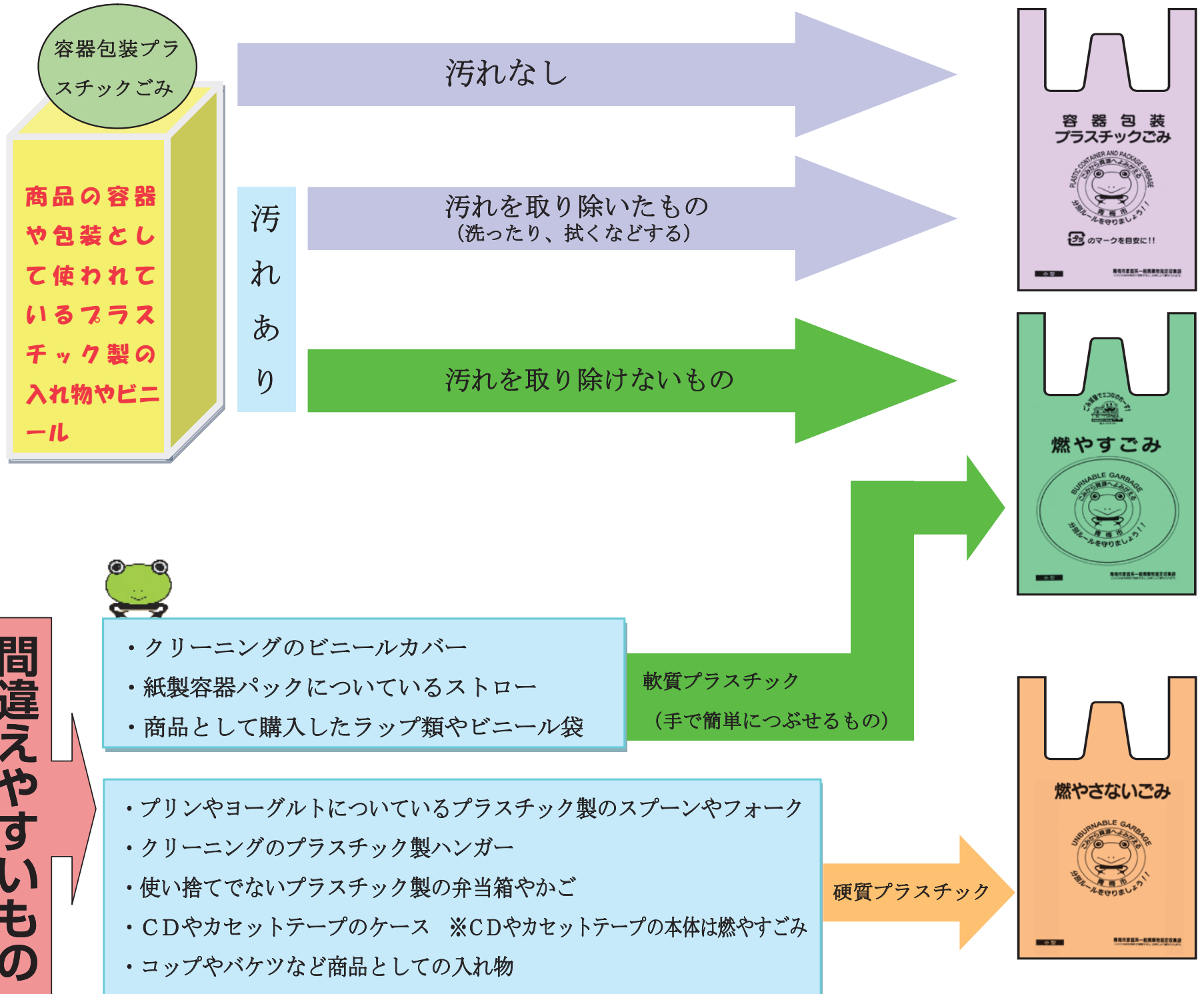


容器包装プラスチックごみの出し方については、平成20年4月に紫色の専用袋を作成し排出をお願いしているところであります。

今回は、問い合わせの多い容器包装プラスチックごみの分別等について、改めてお知らせします。



商品の容器や包装として使われているプラスチック製の入れ物やビニールが対象で、ほとんどの商品には プラマークがついています。これらは、中身を使った後に不要となるものです。また、 プラマークがついていない商品でもプラスチック製の容器や包装であれば容器包装プラスチックごみで出してください。



容器包装プラスチックごみの種類と出し方



リサイクルセンターに運ばれた容器包装プラスチックごみは、手選別によって中身の確認をしながら異物を取り除く作業をします。その後資源として再利用するため、圧縮梱包して財団法人日本容器包装リサイクル協会に引き取られます。

容器・包装の種類	出すときに注意することは？	どんなものがありますか？
パック・カップ類	<ul style="list-style-type: none"> 透明な外装フィルムはそのまま出す。 プリンやゼリーのカップやカップめんの容器は、洗い桶の水などを利用してすすいでから水気を切る。 カップめんの容器は、プラスチック製と紙製があるので、表示に注意する。 	
袋類	<ul style="list-style-type: none"> ふりかけやスープの小袋は、ついてるかすをふるい、そのまま出す。 ポテトチップスの袋は、逆さにしてふるって食べかすをとる。 小袋は、レジ袋にまとめて入れずにそのまま出す。 	
ボトル・チューブ類	<ul style="list-style-type: none"> マヨネーズやケチャップなどのチューブ類やソース類は、口元の汚れを取り、中をすすいで水気を切る。 キャップの汚れがあるものは、すすいでから出す。 シャンプーなどのポンプ式の容器とノズルは、お風呂の残り湯などで洗いぬめりを取る。 	
容器・トレイ類	<ul style="list-style-type: none"> 値引きシールや商品表示シールがついているトレイのラップは、剥がせなければそのまま出す。 トレイの汚れは、軽くすすぐか不要な紙等で拭き取る。 リップクリームなどのスティック類で汚れが取れないものは、燃やすごみで出す。 	
緩衝材・ネット類	<ul style="list-style-type: none"> 梱包用発泡スチロールや緩衝材は、そのまま出す。 大きなものは、割って出す。 果物や野菜のネット類は、そのまま出す。 	

※いずれの場合も、ビニール袋やレジ袋等を二重にしないで、容器・包装をそのまま出してください。

青梅市の容器包装プラスチックごみの品質検査結果

青梅市では、容器包装プラスチックごみをふたたび製品またはリサイクルするため、その業務を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ委託しています。そこでは、その品質向上を図るため、破袋した袋の中身が適正なものかをチェックする品質検査が行われています。

平成24年度は、下記のとおり3項目全てにおいてAランクの評価をいただきました。

なお、Dランクになり改善がみられない場合は引き取りを拒否されます。

今後とも一人ひとりが「ごみは資源である」という認識を持ち、正しいごみの分別とリサイクルを推進するようさらなるご協力をお願いいたします。

<青梅市判定結果>

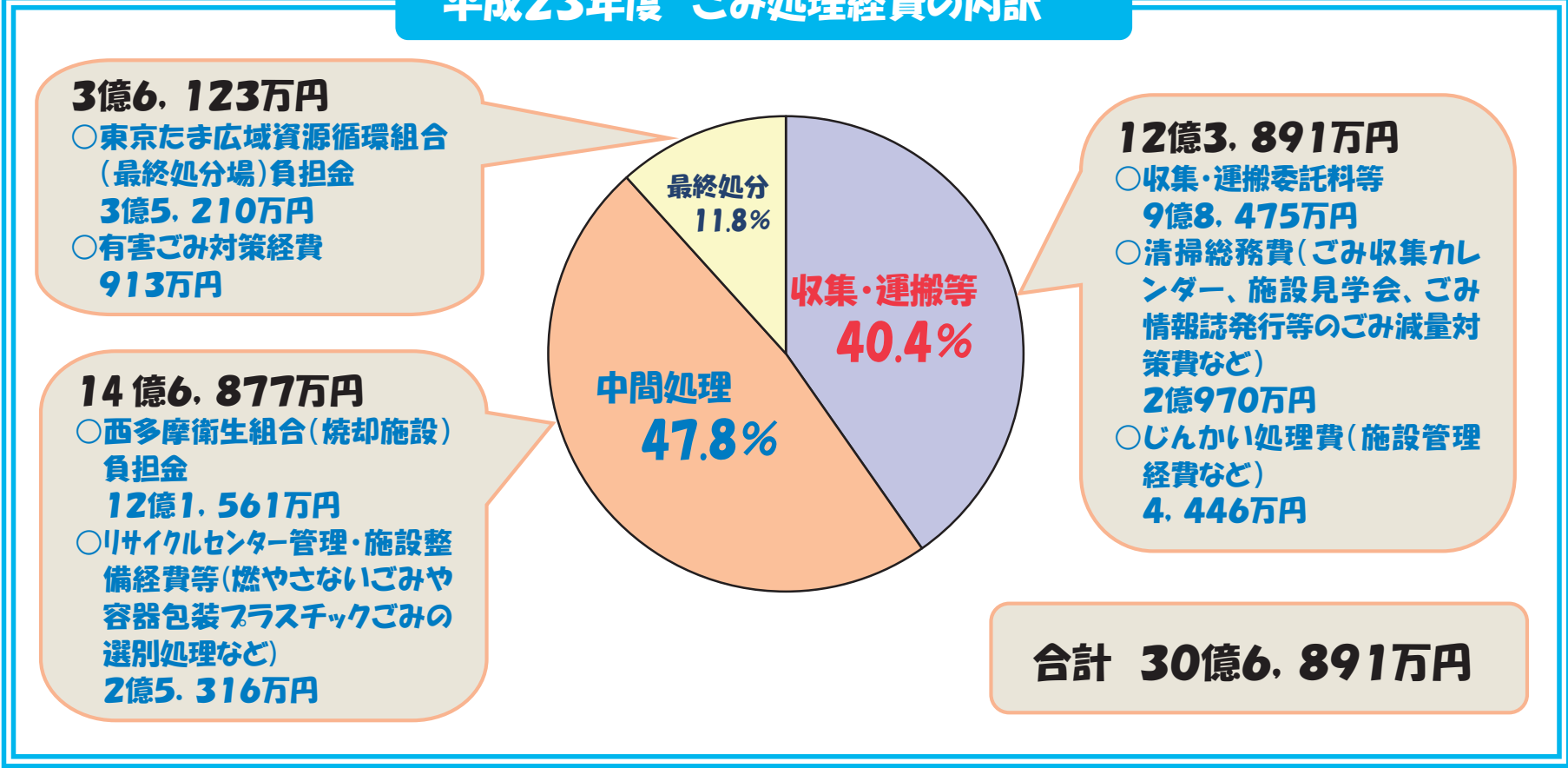
A: 基準を満たしている B: 満たしていないが許容範囲 D: 満たしておらず抜本的な改善が必要

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
1. 収集袋破袋度 (内容を確認するための破袋度)	A	A	A	A
2. 容器包装比率 (異物を取り除いた比率)	A	A	A	B
3. 禁忌品判定ランク	A	A	D	D
医療廃棄物	無	無	無	無
危険品	無	無	有 単三電池1個、はさみ1個	有 カミソリ2個、単三電池2個

※品質調査結果の概要は、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会のホームページでご覧いただけます。

青梅市のごみ処理費用は？

平成23年度 ごみ処理経費の内訳



平成23年度の青梅市におけるごみ処理経費は30億6,891万円かかっており、一般会計(歳出)に占める割合は6.2%です。

市民1人あたり年間 21,943円

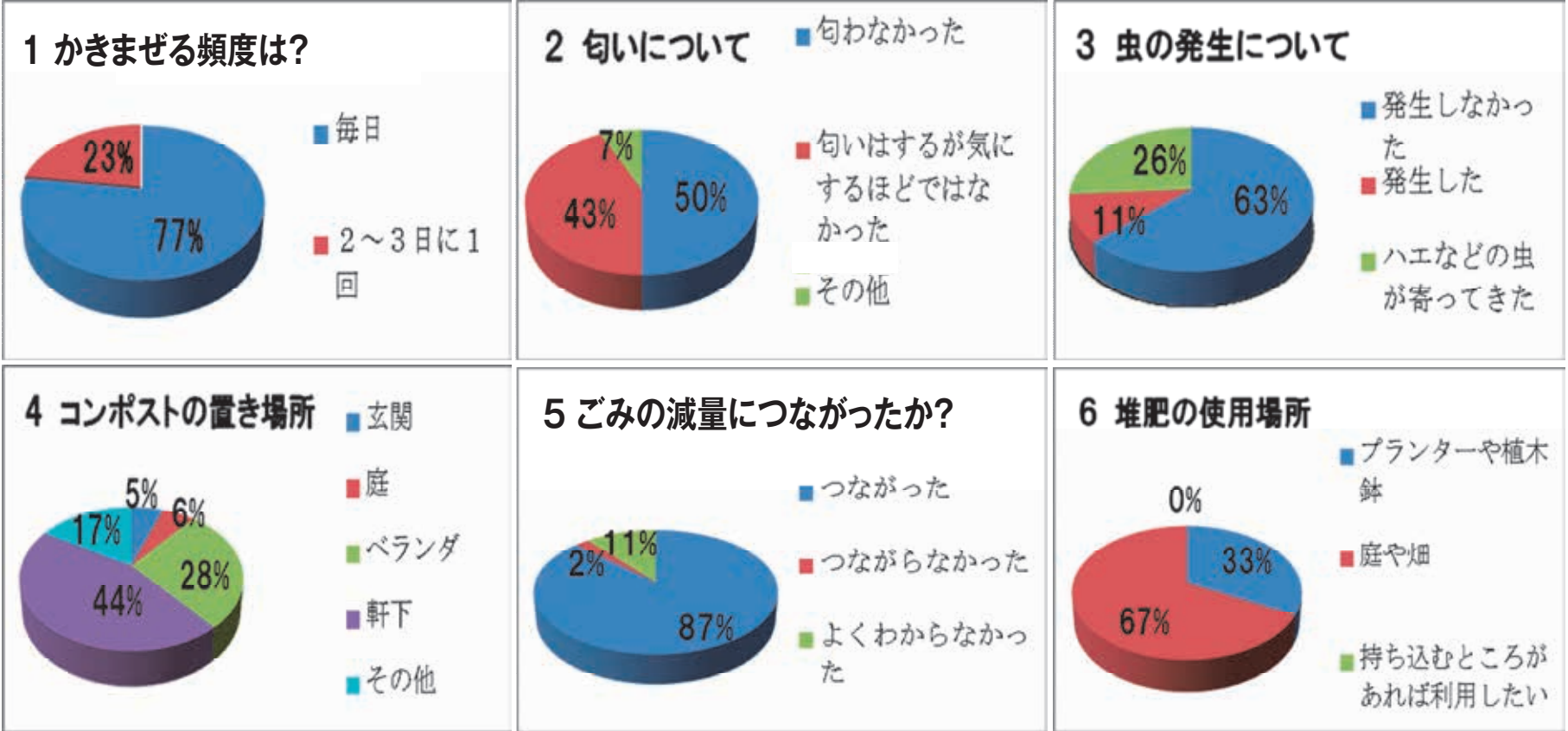
1世帯(2.3人)あたり年間 50,941円

ごみ1kgあたりの経費 77円

生ごみ堆肥化講習会モニターアンケート結果から

春と秋の年2回、市民グループ「青梅生ごみグルグルネット」の協力により生ごみ堆肥化講習会を開催しています。生ごみの分解が遅く温度が上がりにくい等苦労することもあります。モニターの方から平成23・24年度にいただいた感想を抜粋してまとめてみました。

- ・根気がある作業だが、ごみの排出量が目に見えて少なくなってきたので生ごみが分解して堆肥になるのが楽しみ。
- ・ごみ袋のサイズが一回り小さくなり、経済的な負担が減った。
- ・生ごみに対する親近感が出て、楽しみながら継続していきたいと思うようになった。
- ・ごみの減量にはよい方法だと思うので、もっと普及するとよいのだが…。



清掃リサイクル課からのお知らせ



ごみ減量講演会「ごみについて知ろう！」

ごみの減量には、限りある資源を効率的に利用するとともに再生産を行って、持続可能な形で循環させながら利用していくことが大切です。

このたび、青梅市環境美化委員連合会と共催で、ごみについて様々な事例を紹介し、初歩から分かりやすくお話していただきます。

この機会にぜひご参加ください。

- 日時: 11月18日(日)
午後2時00分～午後3時30分
- 会場: 市役所2階会議室 ■ 定員: 120人
- 入場: 無料 直接会場へお越しください
- 講師: 明星大学理工学部
教授 宮脇健太郎 先生
- 共催: 青梅市・青梅市環境美化委員連合会



音声版ごみ収集カレンダーとごみ減量・資源リサイクルハンドブックが必要な方へ

ボランティアグループの協力により平成24年度ごみ収集カレンダーおよび青梅市ごみ減量・資源リサイクルハンドブックの音声版(デイジー方式)を作成しています。ご希望の方は清掃リサイクル課へお問い合わせください。



高齢者のごみ袋引換券の取扱いについて

65歳以上の高齢者だけでお住まいの**市民税非課税世帯**に対して、1年に1回指定収集袋引換券を交付しています。該当していて今までに1度も申請をしていない方が引換券を受け取るには申請が必要ですので、市役所3階清掃リサイクル課またはお近くの市民センターにて申請してください。

1度でも申請をしたことのある方は、再度申請する必要はありません。



出前講座を申し込みませんか？

市職員が講師として出向き、講座を行います。

市教育委員会では「生涯学習まちづくり出前講座」を行っていますが、清掃リサイクル課では右記のような講座メニューを用意しています。

市内在住・在勤・在学の10人以上で構成されている団体・グループであれば、無料で伺います。

※詳細および申し込みは、市教育委員会社会教育課へ

講座メニュー

- 棄育(すていく)
～ごみ処理について学ぶ～
- もう一度、見直してみよう！
～ごみの減量・分別について～
- 「ごみの変身物語」
～子どもから環境学習を～
- 生ごみでたい肥を作ってみませんか？



青梅市リサイクル推進協力店募集

「リサイクル推進協力店」とは、市民の皆さんや行政と一体になって、ごみの減量とリサイクル活動を推進する事業所です。登録店舗には、店舗掲示用のステッカーをお渡しし、市ホームページ等を通じてPRをします。

登録資格 減量・リサイクル推進事項(ペットボトルの回収、発泡スチロールトレイの回収、牛乳パックの回収、ビンの回収、カンの回収、買い物袋の持参奨励、簡易包装の推進、使い捨て容器の使用自粛、エコマーク・グリーンマーク商品の販売促進、生ごみ処理機等の販売、広告・チラシの再生紙の使用、中古品の下取り・引き取り、事業ごみのリサイクルの推進、その他、市長が認めるごみ減量・リサイクルに関する事業)のうち、2項目以上を実施する市内の小売店舗

登録方法 清掃リサイクル課(市役所3階)で配布する「青梅市リサイクル推進協力店申込書」に必要事項を記入し、清掃リサイクル課へ
※随時受付